

話す・聞くのルールを子どもと創る



子どもと教師で、話す・聞くのルール作りを、各クラスでしましょう。

昨年度、「聞く」については、いろいろな学級で左のような掲示物がありました。自分たちのルールとして、根付くことがねらいで、「させられる」のではなく「自分たちが大事にしたいルール」にするほうが、子どもの力は伸びていくと考えるからです。

各学年の実態に応じて、教師の支援が必要かとおもいます。低学年は、教師のほうからの提示でかまいません。みんなで大事にしていく意欲付けをお願いします。

「どんな風に聞いてくれるとうれしいかな？」など投げかけも工夫のしどころです。また、子どもから出てこないルール、教師が身につけさせたいルールもその中に「先生の意見」として入れていくのも良いですし、学校生活を送っていく中で付け足していくのも良いです。

裏にある各学年に応じた、「聞く・話すの指導について」を参照してください。